

陰と陽

Aブロック 全作品と講評

www.columnland.net/

にて作者さん&読者さんの声実況中

世の中

隠がなければ陽は明るくなく
陽がなければ陰は暗くない

東京に出る折、押入れの奥から二冊の母子手帳を見つけた。誕生日は同じ年の同じ日。そう、私、美香と、妹の美紀はいわゆる一卵性双生児なのだ。二箱のへその緒にニセットの哺乳ビン。その中にふと、対になっていない、一冊のノートを見つけた。

マタニティー・ダイアリー

「マタニティー・ダイアリー」と書かれたそのノートは私達の出産・育児日記のようで、分厚さから何年も書き溜められているようだ。なんとなくページを開く。

1990年7月

かわいい二人は今日も元気！やつと二人の顔が区別出来てきた。

そう、私と美紀は学校の先生方がしょっちゅう間違うほどに瓜二つなのだ。まさか、最初は親も区別がつかなかったとは。

1991年7月

美紀が初めて立った！美香も早く立たないかな。

これは聞いたことがある。確かこの三日後に、私も立ったのだ。

1993年2月

美香の方がちよつと言葉を覚えるのが遅くて心配。

1995年5月

美香だけ逆上がりが出来ないらしい。頑張れ美香！

私は日記を閉じた。この先は読みたくないような気がした。結局これが続くのだ。

人に会うたびに「どっちがお姉さん？」と聞かれたり、「どっちが身長高いの？体重は？成績は？」と間違い探しのように質問をされること。これは双子の宿命かもしれない。

同じような顔をした二人が居れば優劣をつけたくなるものなんだろう。そして、いつだって私は美紀に負けた。勉強もスポーツも習い事も。出来のいい妹に、さえない姉。周囲の人だってさぞ覚えやすかったことだろう。美紀が陽なら私は陰だ。美紀の道にはずっと日が当たっていたし、私の道はずっと日陰だった。

後ろの方までページをめくる。

2003年4月

二人そろって同じ中学に入学！おめでとーう！六年間一緒に通えるね！

苦笑した。大学ではそうはいかなかったんだよな、と。同じ学校が第一志望だったけれど…。一緒に受けに行ったらけれど…。

次が最後のページだ。このページだけ、やけに新しい気がする。

2008年1月

二人もいよいよ大学受験。神社で守りを買ってきた。受ける大学全部の名前を言ってお祈りしてきたけど、振り返り際に「二人がそれぞれ一番幸せになれる大学に合格しますように！」って訂正した。一人の人間として、二人共に本当に幸せになって欲しいから！

顔を上げて、放り投げられているスクールバックを見る。学業成就のお守りは付いたまままだ。

こんな事、気付かなかった。

母さんは全力で、私たち二人ともを、愛してくれている、なんて。

今は、それだけで十分だと思った。ただ、嬉しかった。

窓から射す太陽がちよつと眩しい、気がする。

とある調査隊長の手記

— オンヴィイ暦3552年 タイヤカン地方 —

我々は、この地方のカムウ砂漠地下に超古代遺跡を発見し、調査に向かう。指令である私は、隊員100名を遺跡に送り出し、地上で指揮を執っている。

調査開始2日目の昼ごろのことである。調査中の南雲小隊長から入電があった。その内容はこういうものだ。

「緊急連絡！ 緊急連絡！ 地下6階の空間で未知の生命体に接触。隊員3名が赤くドロドロしたスライム状に変化してしまった。」

危険を察した私は6階フロアを破棄し、地下5階への通路を閉鎖させ、さらに健常者が完全に陰性だと分かるまで待機するよう指示し。こちらでは地上との通路を遮断した。2時間ほど経って、再び入電があった。

「だ、めです。あの3人は放棄しましたが、我々…中にも陽性が多数出しました。かく言う私も陽せいです。彼らにはいかなる兵きも効きません。ち上にでたらこのほしはおしまい…す。ざんねんで…が、われわれはここにのこりま…こ、の、クライ、ヤミノ…」

交信はそこで切れた。それからすぐ後のことだ。辺りに轟音が鳴り響く。私はテントを出た。遺跡には火柱が上がっていた。調査隊の爆薬に引火したのだろう。

「…こ、これで皆、暗闇から再び陽の下に戻ることができた。」

私はもはや人ではなくなった南ぐもたちのふってくる中でそんなことをおもっていた。

かれらのかおはフラッテイルようだった。

影鏡 陰陽

「陰」と「影」はどう違うのだろうか、と疑問に思ったことはないだろうか。

どちらも同じく「かげ」と読み、光が当たらないところを意味している点も共通している。意味の違いを正確に理解している人はそれほど多くはないのではないかと思う。

ある物体に光を当てた時、物体そのものができる「かげ」を「陰」といい、その物体に遮られて別の物体にできる「かげ」を「影」という。

光の散乱などを考えれば「かげ」になつてゐる部分が不可視になることはない。試しに周囲の物体を観察してみれば、「かげ」となつてゐる部分が陰と影に分けられることが容易にわかるはずだ。

影鏡 陰陽

しかし、身近な物体の「かげ」について考えていくと、例外がある事に気づく。鏡である。光源に背を向けて鏡が置かれたときでも、鏡面には陰ができないのだ。また、他の物体が鏡面に影を落とすこともない。しかし、強く光が当たつてゐるわけではないから、陽（ひなた）である、としてしまうには無理がある。

つまり、光が当たる当たらないにかかわらず、陰でも影でも陽でもない、特異な平面として鏡面は存在するのだ。

もちろん、これは鏡面が光をほぼすべて反射してしまうが故の性質である。だが、どうしても鏡は陰陽を超越しているのだと思えてならない。

影鏡 陰陽

ところで、風水で用いられる道具の中に八卦鏡というものがある。表面が鏡となつており、裏面に太極図と八卦の模様が入れられている、古代の銅鏡に似た構造の鏡だ。このままでもエネルギー調整の力があるとされるが、実はこの鏡の種類は平面鏡だけに限らない。用途に応じて凸面鏡や凹面鏡のものも存在し、凸面鏡には陰気を拡散する効果、凹面鏡は陽気を集中する効果があるといわれている。

よく考えてみると、周囲の陰陽のバランスをコントロールできるのは、鏡それ自身が陰にも陽にも属さないからだといえるのではないだろうか。やはり鏡は風水の世界においても陰陽に対して特別な存在なのだろう。

影鏡 陰陽

そもそも陰陽とは何なのか。陰陽思想とは宇宙のあらゆる事象を、対立しつつも相互に補完しあう二つの属性である「陰」と「陽」に分類しようという古代中国の思想である。

現代の日本では風水や陰陽道に対して胡散臭いイメージを持つている人は多い。しかし、その根底に流れる陰陽思想は理にかなつたものの見方であり、単なるオカルトではなく、現代社会においても思想として十分に通用するものであると思う。

西洋の物理学者などの中には陰陽思想や孔子・老子などに深く関心を持つ人が多いと聞く。一部の学者が主張するように、西洋由来の自然科学を追究していくとき、その先にある真理は意外にも古代の東洋哲学と通じているのかもしれない。

僕は騒ぐのが苦手だ

だから僕はクールキャラを貫いている

なのになんだか最近周りが騒がしい

エンターテイナーとしての要素は何もないはずなのに・・・

何がどうなっているんだ

間違いは起こしてないはず

何でもんなそんな含み笑いしてるんだよ

おい！

なんとか言えよ！

何がおかしい・・・ってあれ、何だ

体が・・・重い・・・

どうしちゃったんだろ・・・

ここはどこだ・・・

「目を覚ましましたね。あなたは学校で倒れて救急車で運ばれたのです。
ストレスが溜まっていたのでしょうか。」

そうか・・・。

クールを装うあまり陰気な気分になりすぎていたのかもしれない。

「とろろで」

ん？

「その年齢では珍しいのですが・・・よっぽどだったのでしょうか。」

もどかしいな・・・早く言えよ

「とりあえずこちらを見てください。」

さし出された鏡に映った僕の後頭部

そこには、燦々と輝く真ん丸の太陽があった

「ねえ おじちゃん」

それは横断歩道にさしかかった時だった。いきなりガキに声をかけられた。

「あそぼ」

語尾に音符まで付けて、無邪気に服を引っ張ってくる。

「ねえってばー あーそーぼー」

「五月蠅いな。遊び相手なら他を当たれ」

「えー やだー おじちゃんじゃなきゃ やーだー」

怒鳴っても効果無し。それどころか余計に面倒なことになった気がする。このままでは埒が明かない。

「——あー分かった。相手してやる」

「え ほんと やったー」

はあ。嬉しそうな顔しやがって。

「少しだけだからな。終わったらすぐ帰るんだぞ」

うん、と弾けた笑顔を少し眩しく感じた。

「で、何をすりやいいんだ」

「あのね あのね ししままであそぶの」

楽しそうに話し始める。

「しろいとこがテンゴクでー くらいとこがジゴクね

ジゴクからはアクマがでてくるんだよ

だから くらいとこはふんじやだめなの

しろいとこが いちおー あんぜんちたい

でも アクマはたまにテンゴクのヒトもタベチャウンだよ

だから テンゴクもあんまりアンゼンじゃないの

でも しろいとこにいないとソクシだからね

あ アクマはコリツしたエモノしかオソワナイから

ふたりでデをつないでればアンゼンだよ」

明るかった口調にはいつしか陰が混じり始めていた。

「ほら いこう」

急に腕を引っ張られた。

そのまま引かれるままに進む。

しかし、あの陰は何だったのだろうか。

「おい、待ってくれ」

腕を掴む小さな手を払いながら声をかける。

「結局のところこれはどういう遊——」

突然、グシヤアと視界が回転した。

意識の途絶える間際、視界の端にガキの顔が映る。

——陰が、笑っていた。

夜がないと
朝はこない

光と影の優位性

『光と影』は二律背反のものとしてさも同等のように扱われるが、果たして本当に同等だろうか？

光から影は生まれる。

そこに光が存在し、それを遮ることで影が存在するようになる。

しかし、影から光が生まれるであろうか…？

いや、生まれない。

「あのとき、どうすることもできず暗闇の中にいた私に、一筋の希望の光が…」
別にそういう話じゃない。

つまり何が言いたいかというと実際の光と影において先に存在するのは『光』だということだ。

そう考えると光と影は、5対4くらいで光の勝ちなのではなからうか。

だが待て、仮に影が全く存在しなかったら…

影という比較対象を失った光は光としてとらえられることはなくなり、結果それが光なのか影なのかさえわからなく…

くそつ、影もなかなか攻めているではないか！

まるでオセロの4つ角以外の辺は全部シロだったのに、1つの角をとられてドミノ倒し式に4辺全てが黒に染まってしまったかのような衝撃が走る。

…やっぱ同等か。

シアン化ナトリウム

真由子はあたしの大親友。真由子はとってもおとなしい。けれども何でもよくできて、いつもあたしを助けてくれる。今日も真由子に教わりながら、彼女の家でチョコ作り。何度も失敗しながらも、素敵で可愛いチョコができ、これなら彼もイチコロね、なんて真由子もしゃいである。こんなに真由子のはしゃぐのは、初めて見たかもしれないな。明日はセントバレンタイン。誰もがわくわく待っている。

早苗は私にとっての光。

きらきら輝く早苗には、私は触れられないけどもせめて早苗に照らされて、生まれる影になりたいの。けれど光が他所を照らせば影は虚しく消えてしまう。早苗がチョコを作ると聞いて、私は不安でたまらなかった。もしも光があちらに向いたら私は影にもなれないの？ そんなの嫌だ、耐えられない。

だから彼には悪いけど、チョコに入れたの秘密の薬。これなら彼もイチコロね、私は少しはしゃいである。明日のセントバレンタイン、私もわくわく待っている。

かげろう【陽炎】

その名のなかに陰を内包する。光にまみれた字面なのに、

なぜ、陰と無縁ではないのだろうか。

間に合わない、間に合わない、間に合わない……。

プラットフォームのランナーに無情にひびくブザー。

遠すぎる電車の後ろ姿が、今朝の敗北を告げている。

書けない、書けない、書けない……。

作家のジレンマに投げかけられる皮肉。

白すぎる紙が、目の前の真つ暗な闇を映し出す。

そんな、嫌だ、ひどい……。

真昼にかかる突然の電話。

幸せすぎる日常に、不幸の影がじわりと滲みだす。

春のうらかな日につつまれて、

のどかな一本道の真ん中で、

惑わすように、ゆらりと揺らぎだす地平線。

気ままにあらわれ、おもむろに消える、

その陽炎は、

ポジばかりに飽きた神様が、

気まぐれに加えるひと搔きなのかもしれない。

ランニング中の出来事

信号が赤に変わる

その場で足踏みをしながらかなりあがつてしまった息を整えようとした時、横断歩道の白と黒が目飛び込んだ

白と黒が対立の関係、言い換えれば敵でしかないと思っていたが、こうやって改めて考えるとむしろお互いに競い合う関係、好敵手——つまりライバル——であるように思えてくる

——ふとあいつの顔が浮かんできた——

その時、信号が青に変わった

瞬間、思い切り地面を蹴り出す

休んだからか、ペースがあがったような気がした

さよなら私の太陽

覚悟を決めて駆けるのをやめた。来た道に向き直る。逃げ切るだけの体力は、もはや残っていない。追手の気配は北に三。南に二。西からは六。合わせて十一対一、圧倒的な不利である。今までなら、こんな状況に陥る前に逃げていた。逃げることを最優先にしていた。もともと私は敏捷さを買われて雇われたく、一だ、武家に生まれたわけでもあるまいし、無謀な戦いを挑んで華々しく散ったところで何の益もない。

「生きて帰れ、必ず」

それに雇い主は毎回、そう言って私を送り出した。求められていたのは情報の早さと正確さ、そして私の生還だった。私だけではない。部下の死の報告を受けるたびに、彼は酷く悲しそうな顔をして、そしてすぐにそれを隠した。血で血を洗う戦が続くこの世界は、彼が心安らかに過すには、少し冷たすぎた。彼に悲しんでほしくなくて、彼がずっと笑顔でいられるような国を夢見て、私は陰の世界を生き抜いてきたのだ。

「……申し訳ありません」

ああ、それなのに、私は今から彼を悲しませる。この口が動かなくなる前にと、小さく謝ってはみたけれど、これは自己満足にすぎないだろう。生きて帰れ、勿論そう言われた。だが、今回ばかりは、その命令よりも優先するべきものがあったのだ。

「やっと諦めたか、お嬢ちゃん？」

粗野な敵の笑い声がする。こいつらが、和平交渉をしていた彼を暗殺しようとして、卑怯極まりない敵の一味！正反対の優しい笑顔を思い出して泣きたくなった。彼の柔らかい声が好きだ。暖かい瞳が好きだ。「よく帰った」と、嬉しそうに笑う顔が好きだ。この冷たい世界の中で、彼の隣だけはいつだって陽だまりだったのだ。

彼はいま、どこまで逃げることできただろうか。やや遠いが、私の背後、まっすぐ東の方角に忠臣の館がある。そこまで辿り着ければ大丈夫だろう。もうすぐ夜も明ける。追手を彼から引き離すことには、どうにか成功した。だから、あとは、私がここでこいつらを足止めするだけだ。老いてから、暖かな陽だまりの中で死にたかったのだけれど、それはもはや叶わぬ夢だった。

横をすり抜けようとした敵を地に叩き付けた。戦闘は本分ではないし、多勢に無勢となるのは目に見えているが、彼の逃げる時間くらいは稼げる。そのくらいの力をつけてきたつもりだ。彼を、あの優しい人を悲しませるのだ、私の死が無益であることなど許されない。そんなこと、私自身が許さない。

「——いざ」

武器を構え直した。世界が透き通る。背中に日の出を感じた。

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
A01	世の中	2 pt さっくり真理。たしかにね、な今週の表紙でした。言葉をごろんと、こんなふうに警句として提示するならば、もっとリズムよく整えたほうが、よりキャッチーです。まあ、分かっているけど難しいのですけれど。 特別賞：誤字には気をつけま賞（短文なのに深い）タイプミス？で賞（隠→陰？）誤植で賞 イチオシフレーズ：「隠がなければ」	7 位	3 sp
A02	マタニティー・ダイアリー	19 pt ふとしたはずみで知ることができた、おかあさんの気持ち。 ていねいな描写のおかげで、心のささくれが治ってゆく気持ちに読者も自分のことのようにシンクロできます。 「間違い探しのように」なんていうこまやかな表現が巧いなあとと思ってたら、そうですか実体験ですか、なあるほど。 実感こもったマイクコメントにも、しみじみでした。 おめでとうシルバー・メダル!! イチオシフレーズ：「窓から射す太陽がちょっと眩しい、気がする（←ここ大事）」	2 位	0 sp
A03	とある調査隊長の手記	0 pt なんだか恐い。その恐さの根源は、文体崩し。「南ぐもたちのふってくる」「フラッテイル」、彼らが崩れつつ、この世への名残をほとばしらせる怨念のカタチのようでした。 特別賞：星新一賞（星新一の作品に酷似している）	11 位	1 sp
A04	影鏡陰陽	10 pt 正統派なのに見せ方も巧い。 「鏡」という媒介項を起用して、陰と陽という抽象的なものに迫っていただきました。 「思う」という主観的な表現を意図的に減らしてゆくと、もっときっちりした正統派になれます。	4 位	0 sp
A05	十歳の夏	2 pt 陰気になりすぎて十円ハゲ。 コミカルに展開してのびかぴかのオチに爆笑です。 人の不幸なのに、気持ちよく笑えるのは、このトークのリズムの良さのおかげでしょう。 特別賞：円形脱毛賞 イチオシフレーズ：「そこには燦々と輝く真ん丸の太陽があった」	7 位	1 sp
		9 pt グシャア、がインパクト大。	5 位	0 sp

A06	狭間	横断歩道の都市伝説といった趣でした。きっと、このおじちゃんを生け贄に、このガキンチョはシャバに戻ってくるのでありましょう。 そう、明日あなたがここに行くと、こんどはおじちゃんが「あそぼ」って寄ってくるのですよ、ご用心。 イチオシフレーズ：「ねーおじちゃん」「しましまであそぶの」
A07	無題（夜がないと）	0 pt11 位2 sp うーん、そうだろうか、そうなのかな。白夜も夜か、ふむ。 なんて自問自答させるような。 「夜がナイト」ってダジャレだったのかなあ。 特別賞：手抜きで賞？ そりゃあそうだ賞（シンプルなのに永遠に問いかけてくるような特別な印象） イチオシフレーズ：「夜がないと朝はこない」
A08	光と影の優位性	2 pt7 位2 sp 光と影の、ニワトリ・タマゴ論争？ マジメトークしつつ軽いツッコミ。そこが親しみやすさになって、こんなに抽象的で哲学的な問いかけなのに、さくさく読めました。 特別賞：共感できるで賞 やっぱ同等で賞（短くてオチが上手い） イチオシフレーズ：「まるでオセロの4つ角～衝撃が走る」
A09	シアン化ナトリウム	23 pt1 位3 sp リズム命。軽快に刻んで、なのに悲劇、その匙加減がすばらしい。 これなら読者もイチコロね。いや恐いです。 イチオシフレーズ大賞のおまけつきの首位でした、おめでとう!!! 特別賞：イチコロで賞（ペロッ……これは青酸ナトリウム……!!） 犯罪で賞（200mgで死にます） 昼メロ賞（シアン化ナトリウム→カリウム） イチオシフレーズ：「シアン化ナトリウム」「これなら彼もイチコロね」×3
A10	かげろう【陽炎】	9 pt5 位2 sp かげろう、というきれいな言葉を軸に、突然の不幸のあらわれかたを炙り出そうという趣向でした。白昼に突然闖入してくる黒い悪魔、のような。 挙げられた三つの事例が、もっと陽炎ならではの「はかなさ」を備えていると、より説得的だったのでは。 特別賞：ち○このポジション賞（すばらしいジレンマがいい） 目のつけどころがいいで賞 イチオシフレーズ：「光にまみれた字面なのに、なぜ陰と無縁ではないのだろうか。」
A11	ランニング中の出来事	1 pt10 位0 sp ランニング中の思考だから、シンプルでポジティブ。動きのなかで、ある感懷を伝えたところが、全体の勢いになって成功しています。 イチオシフレーズ：「休んだからか、ペースがあがったような気がした」
		13 pt3 位1 sp

A12	さよなら私の太陽	もう、すばらしいとしか。真田太平記を思い出しました。 1シーンを切り取りつつ、そのなかに過去をしっかりとフラッシュバックさせて、「雇い主」への熱い恋。泣かせます。おめでとうブロンズメダル!! 特別賞：見やぶられたで賞（常連さん発見、スピカ・楓・月下） イチオシフレーズ：「背中に日の出を感じた」
-----	----------	--

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	陽と陰	8 pt 陽がおだやかに陰を溶かして、二人は今ゴールイン。そんな結婚式場気分の今週の表紙でした。 BGMはきっとリストの愛の夢♪ イチオシフレーズ：「僕達の影は1つ」	5 位	0 sp
B02	二重人格者 Auguste Laurentの手記	14 pt おー、ラストで入れ替わったなあコイツラ、という仕掛けが楽しい。 自分の分身の「彼」が、じわりと自分を浸蝕してくる。その恐さに迫る描写が、とりわけ力こもって印象的でした。 Auguste Laurent って誰？ と気になったかたは検索してみましょう。 レイアウトにもしっかり時間をかけた甲斐がありましたね。シルバー・メダルおめでとう!!	2 位	0 sp
B03	宣告	11 pt まさかの実話？ いえいえ、ちょっとだけ実話、だったそうなの。 CCレモンという小道具もうまく効いて、小学生の悩み事、ユーモラスに届けていただきました。 人生なにごととも経験、といった気分に誘う読みやすさがヒットして、この激戦のなかでブロンズ・メダルとなりました、おめでとう！ 特別賞：みんな陽性で賞（えっ、なにそれこわい）可愛いで賞（解ってない。） イチオシフレーズ：「レンジで温めて食べてね」（with 絶望感）「ああ、俺の人生短かったな」	3 位	2 sp
B04	とある国語辞典 出版社の話	5 pt 笑い話のように見せて、辞書の定義のむずかしさへと思考を誘います。 ダメじゃん、こんな定義と笑いつつ、いざ代案を出そうとすると、超むずかしいですね。 イチオシフレーズ：「女性＝陰険、腹黒、黒幕」	9 位	0 sp
B05	愛しいあなた 恨めしいあなた	8 pt 戦争の両義性に照準をあてて、パワフルに両面を抉り出させていただきました。 中央寄せのレイアウトは、波のようにみせて、こうして歴史は同じことを繰り返してゆくのですというメッセージだったのでしょうか。 特別賞：太陽賞（議論が白熱したので）	5 位	1 sp
		9 pt 人生なんて気の持ちようさ。自分次第で、どんな色にも染められる。 そんな観点を薬という具体的なモノで寓話化して、まこ	4 位	1 sp

B06	薬を2つ買って みた。	とに深い洞察力の発露でした。 陰の薬のほうが、じつは人生の成功者となるなんていう 皮肉もワサビに効いて、読者の選択へと開いたラストと もどもグレイトな仕上がりです。 特別賞：平凡って素敵☆賞（多分この人薬飲まないんだ ろうなー。）
B07	僕の日記	6 pt 8 位 8 sp 僕、何歳？「数学」なら中学生でしょうか。 無邪気に展開して、ラストでぞぞっという恐さの演出が 絶妙でした。 そして、ごらんくださいな、この特別賞の嵐！みんなこ んなにツッコミたがっているんです。ぶっちぎりで最多 特別賞でした。おめでとう!! 特別賞：ゆりちゃん可愛いで賞（想像図付き）ストー カーで賞（「僕」がストーカーっぽい）あるいみ優賞 （僕もいじめてください）陰険賞（まっくろ）実話de 賞（リアルないやらしさが伝わってきたから。）オレ だったらYからゆりちゃんを奪うで賞（男には守るべき ものがある。）最低で賞（子供だからいいけど、最低だ から）算数なら許せたで賞（設定が中学生はなんか嫌 だ） イチオシフレーズ：「ゆりちゃんの困った顔は僕の欲望 を最高に満たしてくれる」「明日は何をしようかなあ ☆」「憎い。ゆりちゃんが憎い。」
B08	陽気にハッピー	20 pt 1 位 1 sp すみませんより、ありがとう、ふむふむなるほどね、と 説得されてくると、ラストでオチがズドン。 オチつきの正統派なんて、流石に粋なことするねえ、あ んちゃん。ゴールドメダルとともにイチオシフレーズ大 賞もどうぞっ！おめでとう!!! 特別賞：瀬戸内寂賞（聴）（毛頭ナッシングだから…… 似顔絵付きB-10班グッジョブ!） イチオシフレーズ：「ありがとう!」×2「むむ、もし くは、くぬ」「毛頭ナッシング」「左頬に衝撃」
B09	二つ。	0 pt 11 位 0 sp 全てを対比的に、よくここまできれいに整えましたね。 特に「真と偽」のくだりのフレーズが深くて印象的でし た。少うし長めのフレーズをはさむと緩急が出てもっと 良かったかも。
B10	この素晴らしい 世界へ	2 pt 10 位 0 sp この神様、何歳でしょうか。 陰から陽へとポジティブ・シンキング。神だと言いつつ も何もしないで、ただ人間社会の移りゆきを眺めている だけのボク神が、ちょっとやんちゃ坊主みたいでかわい い。
B11	ファミレス	0 pt 11 位 1 sp 濃縮されて待ってるわ☆いい響きです。ジュースのCM で行けそうですね、これ。 で、おなかの中でふたりはどうなっちゃうの？とかは考 えてはイケナイのですよね、きっと。 特別賞：深いかもしれないで賞（一見、何か深そうだ が、理解できない）
		7 pt 7 位 1 sp 三拍子でワルツのように。 いやむしろ、座標軸の上に文章を置いてみたような。 新しい工夫でした。

B12	陽 陰 中庸	ラストのビッグが中庸、がツボ。 特別賞：ウルトラジャンプを読みま賞（マンガがからめてあってたいへんおもしろかった） イチオシフレーズ：「仮面ライダーで新人発掘」「とりあえず統治」
-----	--------	---